

9 設定

通信速度 / 通信モードの設定

本製品と接続先機器の通信モードは、次の表の○印の組み合わせになるように設定してください。

IEEE 802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器のポートの通信モードを Half Duplex に設定してください。

		AT-GS900/8PS
接続先ポート		Auto
10M/100M	Half	<input type="radio"/>
	Full	<input type="radio"/>
	Auto	<input type="radio"/>
1000M	Auto	<input type="radio"/>

10 トラブルシューティング

「通信できない」、「受電機器に電力が供給されない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● POWER LED は点灯していますか？

POWER LED が点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がなく正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● 機器を停止後、すぐに起動していませんか？

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

● L/A LED、PoE LED、SFP LED は緑で点灯していますか？

L/A LED、SFP LED は、接続先機器と正しく接続されている場合に緑で点灯します。PoE LED は受電機器に正常に電力を供給しているときに緑で点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- PoE 非対応の機器の場合、接続先機器に電源が入っていることを確認してください。接続先機器が障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。PoE 対応の受電機器の場合、受電機器に障害がなく受電可能な状態にあることを確認してください。

- SFP モジュールが正しく SFP スロットに固定されていることを確認してください。

- 正しい UTP ケーブルが断線なく正しく接続されていることを確認してください。

- UTP ケーブルの長さが制限を超えていないことを確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを構成する UTP ケーブルは最長 100m と規定されています。

- UTP ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。特定のポートが故障している可能性もあります。

- UTP ケーブルに問題がないか確認してください。UTP ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため（結線は良いが特性が悪い場合など）、他の UTP ケーブルに交換して試してみてください。

- 接続先機器の通信モードを確認してください。本製品の 10/100/1000BASE-T ポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。接続先機器が IEEE 802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない場合は、接続先機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。

- PoE 電源の電力使用量が 75W を超えていないか確認してください。PoE 電源の電力使用量が 75W を超えた場合、優先度の低い受電機器を取りはずし、受電機器の合計電力が 75W 以下になるようにしてください。

- PoE 電源の電力使用量が 70W を超えた場合、新たに受電機器を接続しても電力供給は行われません。

11 製品仕様

準拠規格	
	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3z 1000BASE-SX/LX IEEE 802.3ah 1000BASE-BX10 IEEE 802.3x Flow Control IEEE 802.3at Power over Ethernet
適合規格	
安全規格	UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1

EMI 規格	VCCI クラス A
電源部	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC 90-264V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	1.7A
最大入力電流 (実測値)	1.2A
平均消費電力	49W (最大 100W)
平均発熱量	170kJ/h (最大 380kJ/h)
PoE	
給電方式	オルタナティブ A
最大供給電力	装置全体：75W (1 ポートあたり 30W)
環境条件	
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80%以下 (結露なきこと)
保管時温度	-20～60℃
保管時湿度	95%以下 (結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	280 (W) x 180 (D) x 44 (H) mm
質量	
	1.8kg
スイッチング方式	
	スタア&フォワード
MAC アドレス登録数	
	8K (最大)
MAC アドレス保持時間	
	200～400 秒
メモリー容量	
パケットバッファ容量	256KByte

12 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 修理受付窓口
http://www.allied-teleซิส.co.jp/support/repair/

☎ 0120-860332
携帯電話／PHS からは：045-476-6218
月～金（祝・祭日を除く）9:00～12:00
13:00～17:00

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましても、弊社はその責を一切負わないものとします。

13 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター
http://www.allied-teleซิส.co.jp/support/info/

☎ 0120-860772
携帯電話／PHS からは：045-476-6203
月～金（祝・祭日を除く）9:00～12:00
13:00～17:00

14 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

● 一般事項

すでに「サポート ID 番号」を取得している場合、サポート ID 番号をお知らせください。サポート ID 番号をお知らせいただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただくまいません。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

● 製品について

- シリアル番号とリビジョンをお知らせください。シリアル番号とリビジョンは、本体に貼付されている（製品に同梱されている）シリアル番号シールに記載されています。


S/N 0078076104000001 A1

図 12 シリアル番号シール（例）

S/N 以降のひと続きの文字列がシリアル番号、スペース以降のアルファベットで始まる文字列（上記例の「A1」部分）がリビジョンです。

● 設定や LED の点灯状態について

- スイッチ類の設定状態をお知らせください。
- LED の点灯状態をお知らせください。

● お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのかが、またそれはどのような状況で発生するのかができる限り具体的に（再現できるように）お知らせください。

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をお送りください。

- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

15 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。

弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2012 アライドテレシスホールディングス株式会社

16 商標

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

17 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

18 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただけますようお願いいたします。

19 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。

弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

20 マニュアルバージョン

2012年2月 Rev.A 初版



ギガビットイーサネット・PoE+ スイッチ

AT-GS900/8PS ユーザーマニュアル

この度は、AT-GS900/8PS をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、10/100/1000BASE-T ポートを 8 ポートと SFP スロットを 1 ポート装備し、10/100/1000BASE-T の 4 ポートが IEEE 802.3at (Power over Ethernet Plus) に準拠した、ギガビットイーサネット・PoE+ スイッチです。

SFP スロットは、オプション（別売）の SFP モジュールを追加することで、ギガビット光ポートの実装が可能です。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用を意図した設計および製造はされておりません。

したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じても、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわらず、弊社は一切の責任を負いません。


お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意ください。

1 特長


- 10/100/1000BASE-T ポートを 8 ポート装備し、うち 4 ポートが IEEE 802.3at 準拠の PoE 給電に対応
- SFP スロットを 1 スロット装備
- 次の省エネ機能をサポート（常時有効）
 - ・使用していないポートの消費電力を自動的に抑える省電力モード
 - ・UTP ケーブル長を自動判別し、消費電力を抑えるケーブル長省電力機能
- オートネゴシエーション機能をサポート
- MDI/MDI-X 自動認識機能をサポート
- フローコントロール機能をサポート
- 9216Byte の Jumbo フレーム対応（10/100/1000Mbps）
- 最大 8K の MAC アドレスを登録可能
- HDL プロテクト防止
- BPOU/EAP 透過
- ファンレス設計

オプション（別売）

- 壁設置用ブラケット AT-BRKT-J22 により壁面への設置が可能
- マグネットシート L によりスチール製の壁面への設置が可能
- L 字型電源ケーブル AT-PWRCBL-J01L/J01R により、奥行きをとらずに設置が可能
- SFP モジュールによりポートの拡張が可能
 - AT-MG8T 1000BASE-T (RJ-45)
 - AT-SPSX 1000BASE-SX (2 連 LC)
 - AT-SPLX10 1000BASE-LX (2 連 LC)
 - AT-SPLX40 1000M SMF (40km) (2 連 LC)
 - AT-SPZX80 1000M SMF (80km) (2 連 LC)
 - AT-SPBD20-A/B 1000M SMF (20km) (LC)
 - AT-SPBDM-A/B 1000M MMF (550m) (LC)
 - AT-SPBD10-13/14 1000BASE-BX10 (LC)

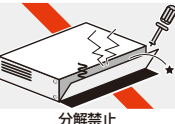


安全のために




警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。




分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。




雷のときはさわらない

異物は入れない 水は禁物
火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。




異物厳禁

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。




ふさがない

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のある場所には置かない
火災や感電の原因となります。



設置場所注意

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの 3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの 3ピン電源コンセントに接続してください。




3ピンコンセント

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たご定配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たご定禁止


設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。



プラグを抜く


ケーブル類を傷つけない
特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



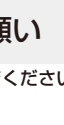
傷つけない

光源をのぞきこまない
目に傷害を被る場合があります。光ファイバーケーブルのコネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネクターなどをのぞきこまないでください。



のぞかない

適切な部品で正しく設置する
取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。



正しく設置

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光のあたる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所
- ・仕様定められた環境条件下でご使用ください
- ・振動の激しい場所



製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

http://www.allied-teleซิส.co.jp/

2 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

- AT-GS900/8PS 本体（1 台）
- 19 インチラックマウントキット（1 式）
 - ・ブラケット 2 個
 - ・ブラケット用ネジ（M3 × 6mm 皿ネジ）8 個
- 電源ケーブル*（1.8m、1 本）
- 電源ケーブル抜け防止フック（1 個）
- ゴム足（4 個）
- 英文製品情報（1 枚）

記載されている内容は、サポート対象外となります。日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。

- ユーザーマニュアル（本書）


- 製品保証書（1 枚）

- シリアル番号シール（2 枚）


* 同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V で使用の場合は、設置業者にご相談ください。

* 同梱の電源ケーブルは本製品専用です。他の電気機器では使用できませんので、ご注意ください。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

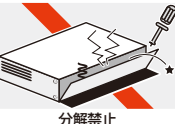


安全のために




警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。




分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。




雷のときはさわらない

異物は入れない 水は禁物
火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。




異物厳禁

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。




ふさがない

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のある場所には置かない
火災や感電の原因となります。




設置場所注意

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの 3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの 3ピン電源コンセントに接続してください。




3ピンコンセント

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たご定配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たご定禁止


設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。



プラグを抜く


ケーブル類を傷つけない
特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



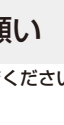
傷つけない

光源をのぞきこまない
目に傷害を被る場合があります。光ファイバーケーブルのコネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネクターなどをのぞきこまないでください。



のぞかない


適切な部品で正しく設置する
取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。



正しく設置


お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因となります。




プラグを抜く


機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな




中性洗剤使用







固く絞る

お手入れには次のものは使わないでください
石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・みがき粉（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください）



シンナー類不可

3 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っているると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

4 各部の名称と機能

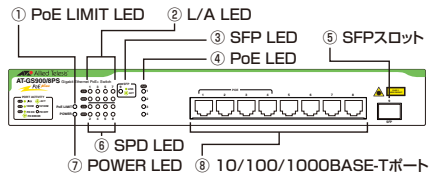


図1 外観図 (前面)

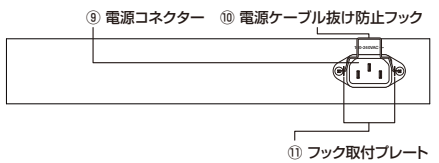





図2 外観図 (背面)

① PoE LIMIT LED (緑)

点灯	PoE 電源の電力使用量が70Wを上回っているとき (このとき、新たに受電機器を接続しても給電がされません。)
消灯	PoE 電源の電力使用量が70Wを下回っているとき / 受電機器に PoE 電源が供給されていないとき
点滅	PoE 電源の電力使用量が装置全体の最大供給電力 (75W) を上回っているとき (このとき、優先順位の低いポートへの給電が停止しています。)

 PoE 電源の電力使用量が70Wを超えた場合、新たに受電機器を接続しても電力供給は行われません。

 受電機器への電力供給の優先度は、ポート番号の小さいPoEポート(ポート1)が一番高く、2、3、4の順に低くなります。

 受電機器により、待機時と使用時の電力が異なる場合があります。

② L/A LED (緑)

ポートが正常にリンクされ、相互に通信が可能な状態のときに点灯し、ポートでパケットが正しく送受信されているときに点滅します。

③ SFP LED (緑)

SFP を介してリンクが確立しているときに点灯し、SFP を介してパケットが正しく送受信されているときに点滅します。

④ PoE LED (緑)

点灯	受電機器に PoE 電源を供給しているとき
消灯	受電機器に PoE 電源を供給していないとき
点滅	以下の理由により、本ポートへの給電が停止したとき - PoE 電源の電力使用量が装置全体の最大供給電力 (75W) を上回ったため - ポートの出力電力が1ポートあたりの最大供給電力 (30W) を上回ったため

⑤ SFP スロット

オプション (別売) の SFP モジュール (以下、SFP と省略します) を装着するスロットです。ご購入時には、ダストカバーが取り付けられています。ダストカバーは、SFP を装着するとき以外、はずさないようにしてください。

⑥ SPD LED (緑)

1000Mbps でリンクが確立しているとき点灯し、10/100Mbps でリンクが確立しているとき、またはリンクが確立していないときに消灯します。

⑦ POWER LED (緑)

電源が正しく供給されているときに点灯します。

⑧ 10/100/1000BASE-T ポート

UTP ケーブルを接続するコネクタ (RJ-45) です。ポート1~4はPoE給電に対応しています。

⑨ 電源コネクタ

AC電源ケーブルを接続するコネクタです。同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご利用の場合は、設置業者にご相談ください

⑩ 電源ケーブル抜け防止フック

電源ケーブルの抜け落ちを防止する金具です。ご購入時には、フックは取りはずされた状態で同梱されています。

⑪ フック取付プレート

同梱の電源ケーブル抜け防止フックを取り付けるプレートです。

5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

設置方法


本製品は、次の方法による設置ができます。


○ 平らなところへの水平方向の設置


○ ラックマウントキットによる19インチラックへの設置
オプション (別売) を利用することにより、次の方法による設置ができます。


○ 壁設置ブラケットによる壁面への設置

○ マグネットシートによるスチール製壁面への設置

 弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、火災、故障の原因となります。

 水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほこりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。

 電源部が下向きになる方向で設置する場合には、必ず、同梱の電源ケーブル抜け防止フックを使用し、電源ケーブルを固定してください。

 製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

設置準備

● 設置するときの注意

設置にあたっては、次の点にご注意ください。

○ 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。

○ テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。

○ 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。

○ 底部を上にして設置しないでください。

○ 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。

○ 本体の上にものを置かないでください。

○ 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。

○ 本製品は屋外ではご使用になれません。

○ コネクタの端子にはさわらないでください。(静電気を帯びた手 (体) でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。)

設置

● 平らなところに設置する

本製品は、付属のゴム足を本体底面に取り付けすることで、デスクの上などの平らなところに設置して使用できます。


● 19インチラックへの設置

本製品を19インチラックに取り付ける場合には、同梱の19インチラックマウントキットを使用し、以下の点に注意して行ってください。

・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。



図3 19インチラックマウントキットを使用する場合の設置方向

 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・ブラケットおよびブラケット用ネジは必ず同梱のものを使用してください。同梱以外のネジなどを使用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあります。

・本製品を19インチラックへ取り付ける際は適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

1. 電源ケーブルや各メディアのケーブルをはずします。

2. 本体底面にゴム足を取り付けている場合ははずします。

3. 本体にブラケットを取り付けます。

同梱の19インチラック取り付け用のブラケットを付属のネジを用いて、本体両側にしっかりと固定してください。

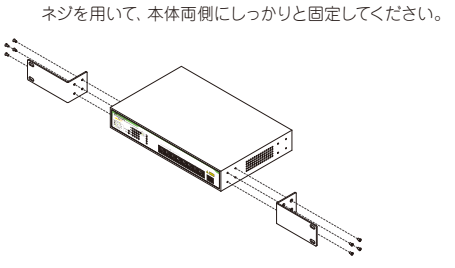


図4 ブラケットの取り付け

4. 19インチラックに取り付けます。

19インチラックの希望する位置に本体を合わせ、適切なネジ (別途ご用意ください) でしっかりと固定してください。

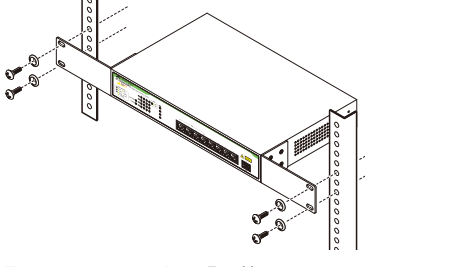


図5 19インチラックへの取り付け

電源ケーブルおよびUTPケーブルの接続が可能であること、また、LEDの表示が監視可能であることを確認してください。

オプションを利用した設置方法

● 壁設置ブラケットによる設置

本製品の壁面への設置は、別売の壁設置ブラケット (AT-BRKT-J22) を使用し、以下の点に注意して行ってください。

・AT-BRKT-J22の使用法は、AT-BRKT-J22の取扱説明書をご参照ください。

・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

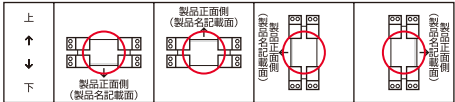




図6 壁設置ブラケットを使用する場合の設置方向

 壁設置ブラケットに取り付け用ネジは同梱されていません。別途ご用意ください。

・壁設置ブラケットを使用する際は、本製品のゴム足を外した状態で設置してください。

 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・壁設置ブラケットを使用して壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れが

あります。

● マグネットによる設置

本製品のスチール製壁面への設置は、別売のマグネットシート L を使用し、以下の点に注意して行ってください。

・マグネットシート L の使用法は、マグネットシート L の取扱説明書をご参照ください。

・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

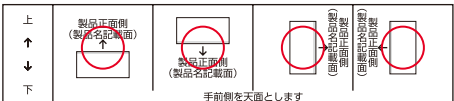




図7 マグネットを使用する場合の設置方向

 設置面の状態によっては、マグネットの十分な強度を得られない場合があります。

 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・マグネットの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器破損の原因となるおそれがあります。

・マグネットの取り付けは、マグネットシートの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジなどを使用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあります。

6 接続

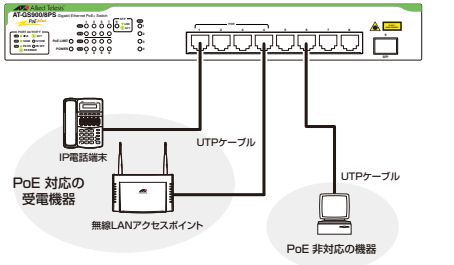


図8 接続例

PoE 対応の受電機器との接続

● 本製品の PoE 給電仕様

○ 給電方式はケーブルの信号線 (1,2,3,6) を使用して給電を行うオルタナティブ A を採用

○ 受電機器の検出方法は、IEEE 802.3at 準拠方式をサポート

IEEE 802.3at (PoE+) 対応 / IEEE 802.3af (PoE) 対応のいずれの受電機器にも給電できます。

○ 最大供給電力 1ポートあたり : 30W
装置全体 : 75W

本製品のPoE給電機能は、1~4番ポートで有効になっています。接続された受電機器の検出、電力クラスの識別を自動的にを行い、必要に応じて給電を開始します。接続された機器が受電機器ではなく通常のイーサネット機器だった場合は、給電を行わず通常の10/100/1000BASE-Tポートとして動作します。

IEEE 802.3at で規定されている電力クラス分けについては、下表をご覧ください。

クラス	受電機器の電力 (最大)	給電機器の電力	同時に給電可能なポートの最大数
0	13.0W	15.4W	4
1	3.84W	4.0W	4
2	6.49W	7.0W	4
3	13.0W	15.4W	4
4	25.5W	30.0W	2*


* 受電機器の電力使用量によっては、3ポート以上同時に給電が可能です。

● UTPケーブルの接続

UTPケーブルを使用して本製品と受電機器やPCなどの端末を接続します。本体のLANポート (RJ-45) にUTPケーブルの

一端を接続し、もう一端をネットワークポートに接続します。

 UTPケーブルのコネクタ部を持ち、カチッと音がするまで差し込んでください。

 給電中のポートからケーブルを抜いた直後は電圧がかかっているため、ケーブルを抜き差しするなどして、機器を接続しなす場合は、2、3秒間を空けてください。再接続の間隔が極端に短いと本製品や接続機器の故障の原因となるおそれがあります。

● UTPケーブルのカテゴリ

10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上、1000BASE-T の場合は、エンハンスド・カテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを使用します。

IEEE 802.3at 対応の受電機器を接続する場合は、エンハンスド・カテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを使用します。

● UTPケーブルのタイプ

本製品はMDI/MDI-X自動認識機能をサポートしていますので、接続先の種類 (MDI/MDI-X) にかかわらず、どちらのケーブルタイプ (ストレート/クロス) でも使用できます。

● UTPケーブルの長さ

本製品とネットワーク機器を接続する長さは100m以内にしてください。

電源ケーブルの接続 (本製品の起動)

本製品は、電源ケーブルを電源コンセントに接続することで電源が入ります。受電機器を接続している場合、受電機器への電力供給を行います。


本製品では、次の電源ケーブルを使用できます。

○ 同梱の電源ケーブル (AC100V用)


○ オプション (別売) のL字型コネクタ電源ケーブル


・背面スペースが限られた場所でも、奥行きをとらずに設置できます。

・AT-PWRCL-J01L/J01R

 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。本製品をAC200Vで使用する場合は、設置業者にご相談ください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

 電源ケーブル抜け防止対策として、同梱の電源ケーブル抜け防止フックをご使用いただけます。

 本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

 オプション (別売) のL字型コネクタ電源ケーブルと電源ケーブル抜け防止フックは、同時に使用できません。(L字型コネクタ電源ケーブルは、同梱の電源ケーブルに比べて抜けにくいケーブルです。)

1. 同梱の電源ケーブル抜け防止フックを本体背面のフック取付プレートに取り付けます。

電源ケーブル抜け防止フック

フック取付プレート

図9 電源ケーブル抜け防止フックの取り付け

2. 電源ケーブルを本体背面の電源コネクタに接続します。

3. 電源ケーブル抜け防止フックで電源ケーブルが抜けないようにロックします。

図10 電源ケーブルのロック

4. 電源ケーブルの電源プラグを電源コンセントに接続します。


5. 電源が入ると、本体前面のPOWER LED (緑) が点灯します。


UTPケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立すると、接続したポートのL/A LED (緑) が点灯します。受電機器に正しく電力が供給されると、電力供給したPoE

ポートのPoE LED (緑) が点灯します。

本製品の停止

本製品を停止するには、電源プラグを抜いてください。受電機器を接続している場合、本製品を停止すると受電機器への電力供給も停止します。


 電源を抜くときには、本体側の接続を先に抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

 本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

7 SFP モジュール


本製品には、オプション (別売) で8種類のSFPが用意されており、本体前面にあるSFPスロットに装着することで、ネットワークを柔軟に構成できます。


 弊社販売品以外のSFPでは動作保証をいたしませんのでご注意ください。


 SFPの使用ケーブル、製品仕様については、SFPのインストレーションガイドをご覧ください。

SFPモジュールの取り付け / 取りはずし

 SFPはホットスワップ対応のため、取り付け / 取りはずの際に、本製品の電源を切る必要はありません。

 SFPには、スロットへの固定・取りはずし用にハンドルが付いているタイプとボタンが付いているタイプがあります。形状は異なりますが、機能的には同じものです。

 SFPの取り付け / 取りはずしの際には、アースが施されたリストストラップを着用するなど静電防止対策を行ってください。

 SFPの取り付け / 取りはずしの際には、アースが施されたリストストラップを着用するなど静電防止対策を行ってください。

● 取り付け

1. SFPスロットに付いているダストカバーをはずします。

2. SFPの両脇を持ってスロットに差し込み、カチッとほまるまで押し込みます。ハンドルが付いているタイプはハンドルを上げた状態で差し込んでください。


3. SFPに付いているダストカバーをはずします。

● 取りはずし

1. 光ファイバケーブルをはずします。

2. ハンドルが付いているタイプは、ハンドルを下げて、ボタンが付いているタイプはボタンを押し、スロットへの固定を解除します。次にSFPの両脇を持ってスロットから引き抜きます。

 光ファイバケーブルを接続していないときは、必ずSFPモジュールのコネクタにダストカバーを装着してください。また、SFPスロットを使用していないときは、SFPスロットにダストカバーを装着してください。

 光ファイバケーブルを接続していないときは、必ずSFPモジュールのコネクタにダストカバーを装着してください。また、SFPスロットを使用していないときは、SFPスロットにダストカバーを装着してください。


 光ファイバケーブルを接続していないときは、必ずSFPモジュールのコネクタにダストカバーを装着してください。また、SFPスロットを使用していないときは、SFPスロットにダストカバーを装着してください。

8 構成

本製品はスタンドアロンでご使用いただけるほか、下図のとおりカスケード接続でもご使用いただけます。

カスケード接続

本製品はMDI/MDI-X自動認識機能をサポートしていますので、接続先の種類 (MDI/MDI-X) にかかわらず、どちらのケーブルタイプ (ストレート/クロス) でも使用できます。

 スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

・カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

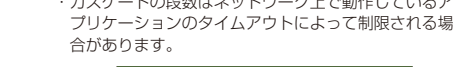


図11 カスケードの接続例